

コミュニティについて

本コミュニティは次世代ネットワーク社会における共有型コンテンツ制作環境の実現に向けて、2008年3月27日に創設されました。コンテンツ制作ならびにそれを支援する企業が業界の垣根を超えて協調し、それぞれのノウハウや最新技術を結集することでコンテンツ制作の国際競争力を向上させることを目標にしています。本コミュニティでは、次世代コンテンツ制作基盤の実現に向けてコンテンツ業界内で発生する課題や問題を解決し、その基盤上で活用できる制作技術や新しい表現手法を開発・検証することを支援します。またそれらを通じて、コンテンツ・クリエイターが厳しい国際競争環境においても活躍できるよう、将来的には教育機関や行政機関との協調も視野にした、より良いコンテンツ制作環境を実現することを目指しています。

コミュニティ発足の背景

コンテンツ業界における制作環境は、Webや携帯電話への映像配信など、デジタル化・ネットワーク化の更なる進展を受けて、大きく変わろうとしています。膨大なデータを保存するハードディスクやワークステーション、制作アプリケーションなどが重要な役割を占めるようになってきました。また専門学校や大学を始めとする教育機関でもコンテンツ業界の裾野を広げる活動が行われています。今後も、より巨大化していくコンテンツ市場や国際化に伴う厳しい競争環境の中で、デジタル化・ネットワーク化に対応しながらより質の高いコンテンツを制作し供給していくための環境を整備していくことが一層求められています。

コンテンツ制作共有基盤について

コンテンツ制作共有基盤は、コンテンツ制作各社間のコラボレーションを促進するための環境を提供します。また共有基盤のハードウェアはデータセンターにて運用され、必要に応じて接続し利用することができるため、コンテンツ制作を行う上で必要となる新規のハードウェア投資を、自社で資産を保有する従来の方式に比べて最適化することが可能になります。

コンテンツ制作共有基盤によって、企業、業界や地域を跨ぐ複数プロダクション間のプロジェクトは、規模の大小を問わず、オンデマンドにハードウェア・リソースを調達することができます。また、基盤上で開発された新しい表現手法を実現する次世代ツールも利用できる環境を目指しています。

コミュニティ参加社について（2008.3.27時点）

株式会社IMAGICA、鹿島建設株式会社、オートデスク株式会社、クリプトン・フューチャー・メディア株式会社、株式会社ワコム、マイクロソフト株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社（順不同）

アドバイザー：東京アニメセンター

コミュニティに関するお問い合わせについて

お問い合わせ：「コンテンツ制作共有基盤コミュニティ（仮称）」事務局

お問い合わせ先メールアドレス： GRID@jp.ibm.com